

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 吉弘鋼材株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		会社は有害物質を取り扱っていないが、加工鋼材廃棄物の処分にあっては専門業者へ依頼している。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事務所蛍光灯をLED化(70式)、合志倉庫・加工場水銀灯をLED化(94式)、飛田倉庫水銀灯をLED化(12式)している。エネルギー使用量の把握に関しては、簡易計算シートを利用し削減に努めている。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		自社2ヶ所(合志・飛田)に太陽光発電システム(500Kw/200Kw)を設置、排出抑制に繋げ温室効果ガス削減量を(クスノキ換算で)把握している。		2.4					7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		立地する合志工業団地組合員との共同・協調(緑地保有・保全、樹木非伐採)を進めている。						6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		特に主業種の鋼材については、リデュース・リユース・リサイクルの徹底を専門業者への依頼・相談も含め進めている。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		熊本地震による事務所復旧工事において、使用頻度の少なかった水道栓数を減少させ節水に繋げている。 事務所の2ヶ所を節水型洋式トイレに変更、漏水防止にも注力している。		2.4				6.3 6.4 6.6 6.a				11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生用紙及び環境対応商品の利用促進を実施している。 生産性向上設備の導入(加工機ユニットワーカー)促進を実施している。									9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2				6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		会社敷地内の植栽保全を社員にて年1回及び業者依頼にて年1回を実施している。										11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		自社2ヶ所(合志・飛田)に太陽光発電システム(500Kw/200Kw)を設置している。 加工機械入替時には生産性向上設備の導入(前年度:加工機ユニットワーカー1台23,900千円)を実施している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4	11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4	11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4	11.6 11.a	12.8	13						17.2	

